

第19回米軍資料の調査・活用に関する研究会

日程：2018年8月24日（金）18：00～21：00 8月25日（土）9:00～12：00

会場：愛媛大学城北地区 校友会館(松山市文京町3番愛媛大学内)

参加費用 500円(会場費と資料代に充てます)

1. 研究会の概要

「米軍資料の調査・活用に関する研究会」が発足したのは、2000年の「空襲・戦災を記録する全国連絡会議全国大会」神戸大会のときでした。空襲・戦災を記録する上で米軍資料は欠かせないものになっていますが、年に一度の全国大会の開催期間内ではなかなか十分な議論ができないという意見が参加者から寄せられていました。こうした声を背景に、米軍資料に関する議論を大会から独立して、しかも大会と連携しながら行いたいという方向性がでて、全国大会の前日に研究会を行うことが決まりました。以後昨年の千葉大会まで同じスタイルで研究会が続いています。

発表の内容は、空襲・戦災の記録を米軍や米国政府の資料から調査・研究したものや米軍資料の紹介などが中心になります。捕虜や戦争遺跡の問題など、テーマは幅広く考えていただいてもかまいません。

2. 申し込み方法

氏名、郵便番号、住所、発表の有無を明記して下記の連絡先までメールでお申し込みください。住所は、職場でも自宅でもかまいません。参加者名簿には都道府県と都市名だけ記載します。配付資料の数を把握する必要があるため、できれば8月20日までにお申し込みください。

3. スケジュール

8月24日(金) 18:00～21:00

1. 中村由佳・野田孔輝・中川直之
不発弾の自然爆発と時限信管
2. 新妻博子 台湾空襲
3. 山本竜也 気象観測原簿にみる空襲記録
(それぞれの発表の後に質疑。最後に全体を通じて質疑)

8月25日(土) 9:00～12:00

4. 工藤洋三 米海軍艦載機による2月25日の東京焼夷空襲計画と試験空襲
5. 山本達也 熊本市出土M76焼夷弾の構造復元
6. 高田馨里 大戦期米英爆撃標的地図の調査について—米英地図の関連性
(それぞれの発表の後に質疑。最後に全体を通じて質疑)

4. 懇親会

参加者の親睦を深めるため24日の21:00から2時間程度懇親会を開催します。すでに参加を決めていらっしゃる場合は、参加申し込みの際にお知らせいただくと助かります。参加は自由です。

会費は4000円程度を予定しています。25日に開催される全国大会の懇親会とは異なりますのでご注意ください。

と き：8月24日(金) 21:30開始(23:00頃終了予定)

と ころ：花咲か爺屋

愛媛県松山市三番町2-6-5 第10ミツワビル2F(URL: <https://hanasaka3.owst.jp/>)

米軍資料の調査・活用に関する研究会
連絡先 工藤洋三
e-mail: ykudo@bronze.ocn.ne.jp